

# 大阪府・泉州医療圏に おける救急医療体制

平成21年9月29日(火)

大阪府保健医療室 医療対策課

1

## 問題認識

- 二次救急医療機関の疲弊が顕著
- 多様な病態の救急患者に対し、個々の医療機関単体による恒常的な医療提供は困難
- 一部の医療機関に過剰な負担
- 二次適応患者の搬送が、三次救急医療機関において増加することにより、三次救急の機能を損ねる危険性

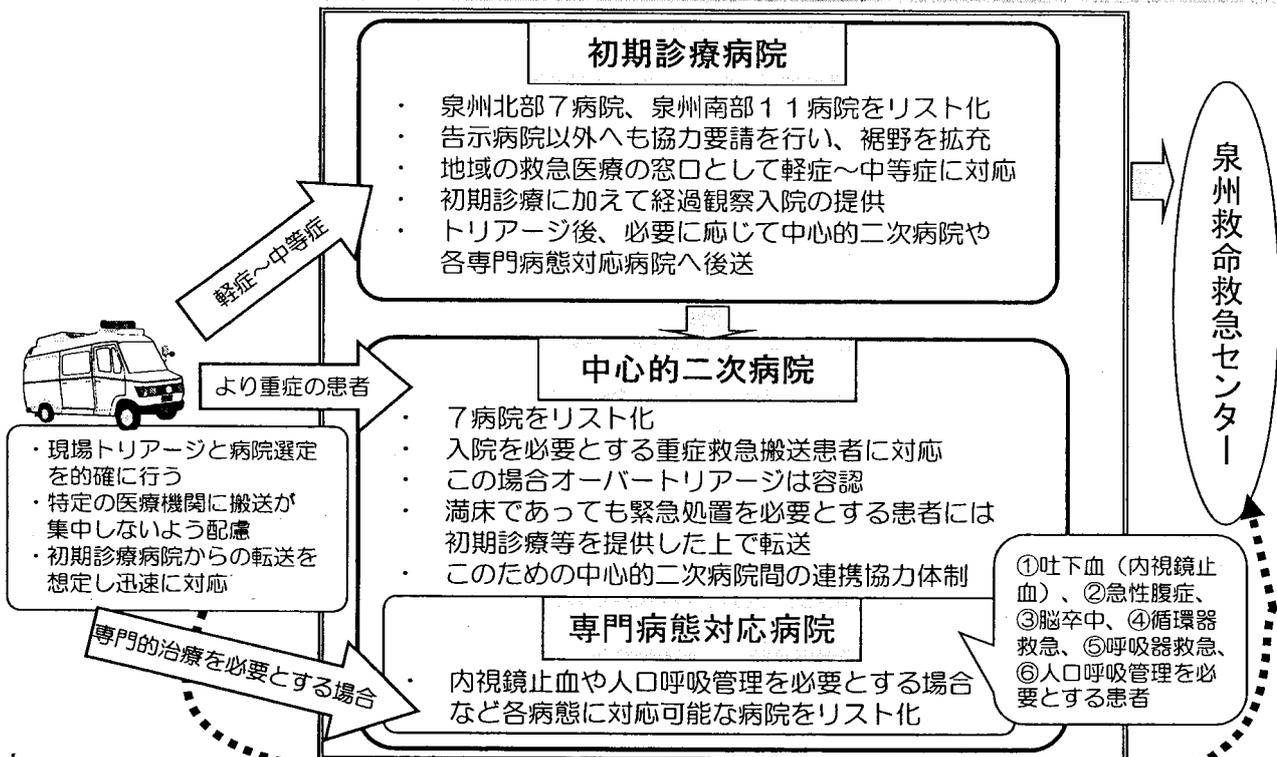
# 新たな体制構築の基本的な考え方

- 負担の分散(とりわけ軽症患者)
  - ①医療機関の機能に応じた役割分担
  - ②受け皿機関の拡充
- 重症救急患者の受入機関を確保
- 特定の疾患、病態に対する当番制の導入
  - ①最終受入病院の指定
  - ②特定の疾患、病態に対する当番制の導入
- 泉州全域において、病病連携による協力体制を強化
- 三次救急医療機関との信頼関係と密接な連携
- 実施の効果を検証し必要に応じた見直し (別添参考)

3

## ■ 内科(内因性疾患)全般について

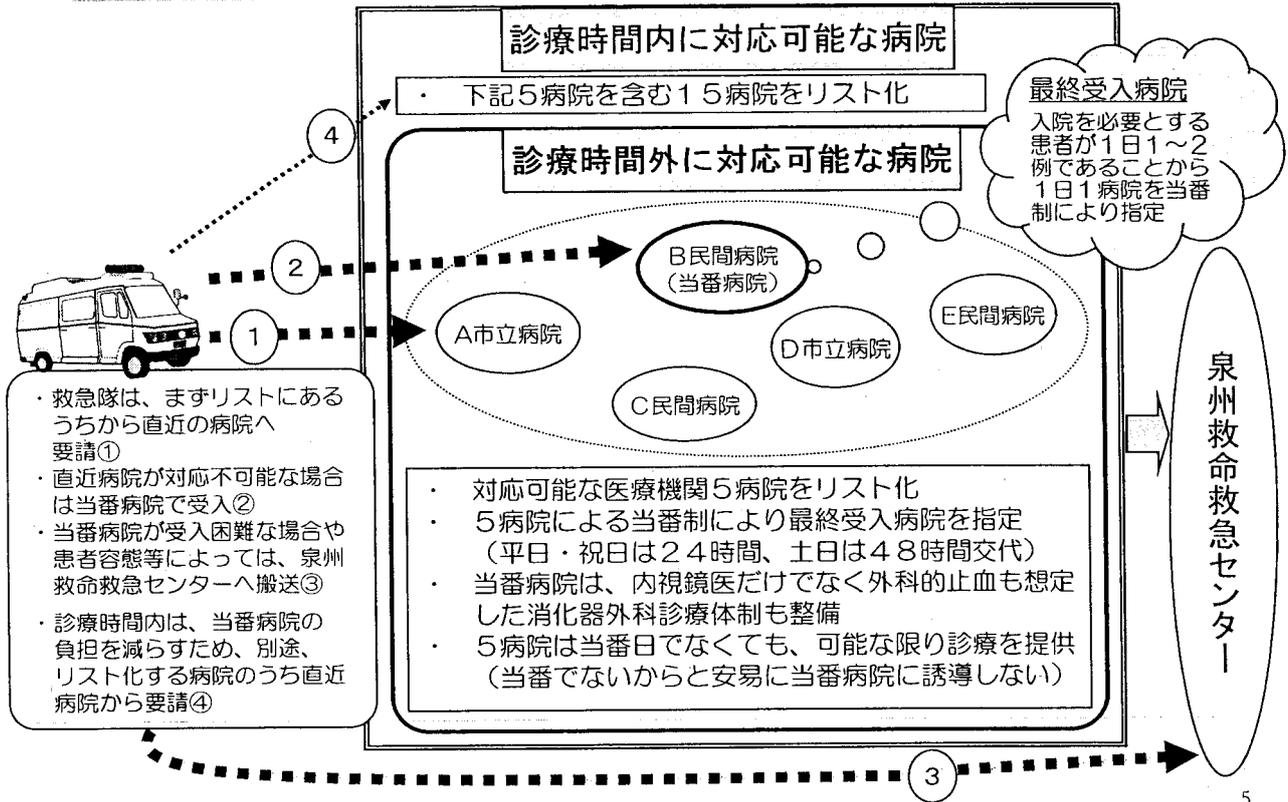
→ 機能分担により軽症患者を「初期診療病院」へ分散搬送し、「中心的二次病院」で確実に重症患者を受け入れる体制を構築



4

## ■ 特定の疾患・病態について(1)「吐血・下血」

→ 緊急性、専門性の高い患者に対し、最終受入機関としての当番病院を指定することにより、確実に受け入れる体制を構築

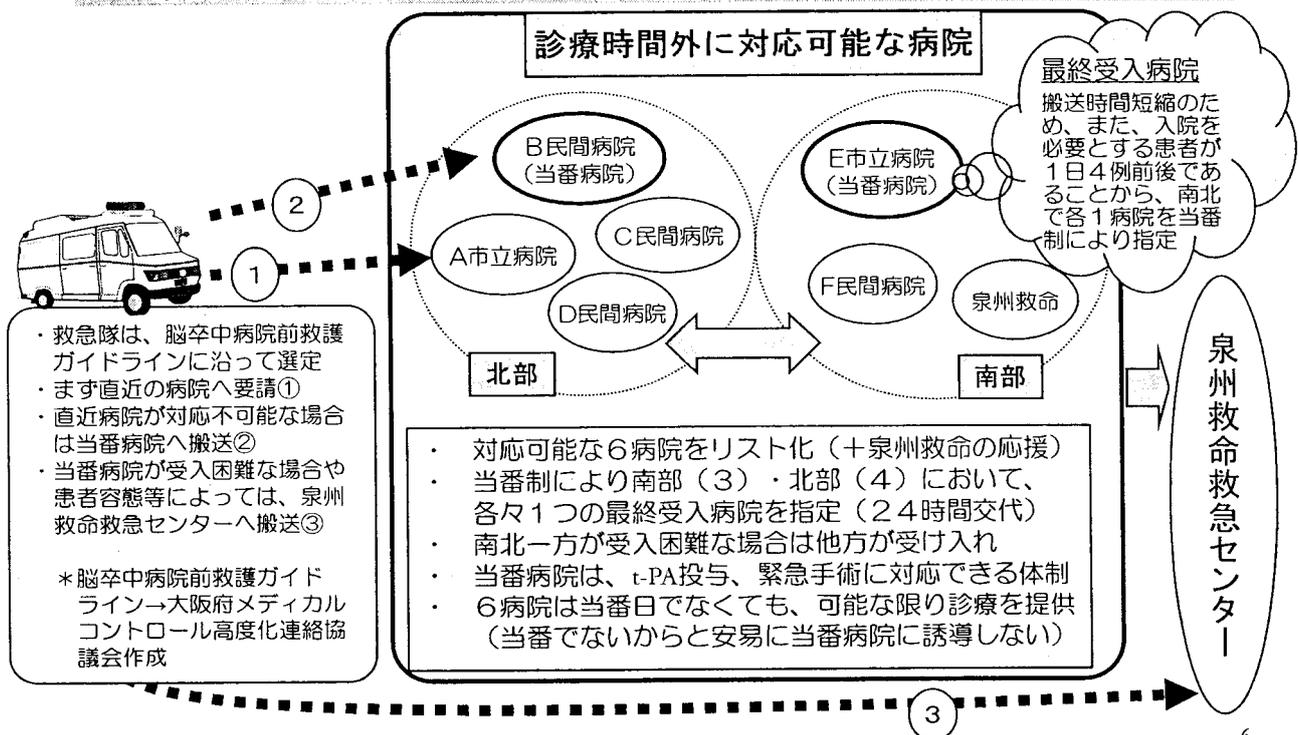


5

## ■ 特定の疾患・病態について(2)「脳卒中」

→ 緊急性、専門性の高い患者に対し、最終受入機関としての当番病院を指定することにより、確実に受け入れる体制を構築。

虚血性脳卒中であってもt-PAを投与する場合は脳神経外科のサポートが必須であるため、出血性か虚血性かの区分はせずに体制を構築する。



6

消防機関による、吐下血(消化管出血)抽出項目

(太字を試行における評価項目とする)

項目	記入要領
出動番号 救急隊	
患者性別 患者年齢	男、女 満年齢、0歳は月例
要請年月日 要請曜日 覚知時刻 現着時刻 現発時刻 医療機関到着時刻 覚知～到着時間 現着～到着時間	西暦、例 半角で2008/10/20 例、半角で21:25 同上 同上 同上 同上 分単位 分単位
主訴 推定重症度	初期、1.5次、2次、2.5次、3次対応 重症度判断根拠となったもの、現場、車取扱後、搬送中のどの時点か
患者観察データ 呼吸様式 呼吸回数 チアノーゼ 四肢循環不全徴候 脈性状 脈拍数 血圧 意識レベル 瞳孔径、右 瞳孔径、左 対光反射、右 対光反射、左	無、正常、深い、浅い、喘鳴、随波、チェンストーク、鼻翼、下顎、調べず 回数記載、または速い、遅い、正常 有無 冷感、湿潤の有無 無、正常、微弱、不整、調べず 回数記載、または速い、遅い 実測値 JCS mm、測定せず、測定できず mm、測定せず、測定できず 有、無、観察せず 有、無、観察せず 無し、右、左、観察不能、観察せず 無し、右、左、観察不能、観察せず 無し、有、観察不能、観察せず
病院選定 病院名① 選定理由 諾否、受け入れ困難理由 病院名② 選定理由 諾否、受け入れ困難理由 (受け入れ先が決まるまで、カラムを増やして記入) 搬送依頼病院数	直近、最終受け入れ、その他(具体的に) 諾、満床、専門外、専門医不在、処置中、手術中、社会的、理由不明 ①受け入れ困難な場合 直近、最終受け入れ、その他(具体的に) 諾、満床、専門外、専門医不在、処置中、手術中、社会的、理由不明 (受け入れ先が決まるまで、カラムを増やして記入)
受け入れ後転送となった場合 受け入れ機関名① 転送理由 受け入れ機関名② 転送理由 (最終受け入れが決まるまで記入) 合計転送回数	満床、専門外、専門医不在、処置中、手術中、社会的、理由不明 満床、専門外、専門医不在、処置中、手術中、社会的、理由不明
最終受け入れ医療機関 搬送先医療機関からの情報 傷病名(主病名のみ) 入院 来院時緊急処置 気管挿管 人工呼吸 緊急内視鏡施行 内視鏡止血 外科的止血術 転帰 退院・転院日 転院先	要、不要 有無 有無 有無 有無 有無 有無 2008/12/1

消防機関用、脳卒中データシート

(太字を試行における評価項目とする)

項目	記入要領
出動番号 救急隊	
患者性別 患者年齢	男、女 満年齢、0歳は月例
要請年月日 要請曜日 覚知時刻 現着時刻 現発時刻 医療機関到着時刻 覚知～到着時間 現着～到着時間	西暦、例 半角で2008/10/20 例、半角で21:25 同上 同上 同上 同上 分単位 分単位
主訴 推定重症度	初期、1.5次、2次、2.5次、3次対応 重症度判断根拠となったもの、現場、車取扱後、搬送中のどの時点か
患者観察データ 呼吸様式 呼吸回数 チアノーゼ 四肢循環不全徴候 脈性状 脈拍数 血圧 意識レベル 瞳孔径、右 瞳孔径、左 対光反射、右 対光反射、左 片麻痺 顔面麻痺 舌伸障害(構音障害)	無、正常、深い、浅い、喘鳴、随波、チェンストーク、鼻翼、下顎、調べず 回数記載、または速い、遅い、正常 有無 冷感、湿潤の有無 無、正常、微弱、不整、調べず 回数記載、または速い、遅い 実測値 JCS mm、測定せず、測定できず mm、測定せず、測定できず 有、無、観察せず 有、無、観察せず 無し、右、左、観察不能、観察せず 無し、右、左、観察不能、観察せず 無し、有、観察不能、観察せず
病院選定 ①病院名 選定理由 諾否、受け入れ困難理由 ②病院名 選定理由 諾否、受け入れ困難理由 (受け入れ先が決まるまで、カラムを増やして記入) 搬送依頼病院数	直近、最終受け入れ、その他(具体的に) 諾、満床、専門外、専門医不在、処置中、手術中、社会的、理由不明 ①受け入れ困難な場合 直近、最終受け入れ、その他(具体的に) 諾、満床、専門外、専門医不在、処置中、手術中、社会的、理由不明
受け入れ後転送となった場合 受け入れ機関名① 転送理由 受け入れ機関名② 転送理由 (最終受け入れが決まるまで記入) 合計転送回数	満床、専門外、専門医不在、処置中、手術中、社会的、理由不明 満床、専門外、専門医不在、処置中、手術中、社会的、理由不明
最終受け入れ医療機関 搬送先医療機関からの情報 傷病名(主病名のみ) 入院 来院時緊急処置 気管挿管 人工呼吸 tPA投与 緊急手術 緊急血管内手術 転帰 退院・転院日 転院先	要、不要 有無 有無 有無 有無 有無 2008/12/1